

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名		笛吹川フルーツ公園		所管課	都市計画課	
指定管理者		(財)山梨県公園公社				
指定期間		平成18年4月1日～平成21年3月31日				
施設の使命・役割(運営目標)		以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと。 ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・果樹にふれあう場を提供すること。 主催事業の実施を通じて、果樹に関すること等を学ぶ機会を提供すること。 果樹の展示を通じて、果樹にふれあい、果樹を学ぶ場を提供すること。				
指定管理者が行う業務		施設、備品の管理運営業務 生活環境の緑化、くだものの振興業務 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 県が実施するイベント等への協力				
維持管理業務の評価		指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
		利用者に安全、快適な環境を提供するため、施設・設備の点検や、果樹・緑地の適正な管理に努めた。	適切な日常点検を行っていた。 ・日誌等で、細かい項目を点検しているため、不具合場所等は早期に発見、対応できている。			
運営業務の評価		指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
		安全で快適な環境を提供すると共に、様々なイベントを通して果樹の提供、緑化の推進を図り、都市公園の機能充実に努めた。	季節の果物に応じたイベントが非常に好評であった。 新管理者に対して、公園利用者の増加を図るため広報活動を強化し、公園の特色を生かしたイベントを企画することを指導した。			
自主事業の評価		指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
		イベント、体験教室については利用者から好評を得ている。カフェテリアには人気の定番メニューもあり雑誌などで取り上げられ来園者からは好評を得ている。 県産食材を利用したレストランは利用者が多数。	県産食材を使用しているレストランが利用者多数な点は評価できる。 新指定管理に対しても、好評であるレストラン等の広報活動を強化し利用者のニーズにあった運営に努め、利用者の増加に努めることを指導した。			
利用者満足度調査	調査結果	満足度	利用者の声			
		総合的な満足度 = 満足/全体 = 71% (良い・やや良い71%・普通19%・やや悪い・悪い10%) 花の木々の状態 良い160%・普通32%・悪い18% 園路の歩きやすさ 満足62%・普通30%・不満8% 遊具の使いやすさ 満足54%・普通39%・不満7% 公園職員の対応 良い148%・普通45%・悪い17% 園内の案内・情報 良い143%・普通47%・悪い10% くだもの館 満足44%・普通44%・不満12% トロピカル温室 満足44%・普通44%・不満12% 等	・色々な植物があって楽しい。 ・広々として気持ちいい。 ・フルーツがたくさんあって散歩していて楽しかった。 ・公園から見える景観がとても良い ・飲食できる場所が少ない ・アンケート設置場所に有料施設の金額をはっきりと書いておいてほしい。 等			
	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
		大多数の人が満足していることから、都市公園機能を十分に果たしている。 園内で収穫された果実を地域の身障者施設等に提供し、好評を得ることが出来た。一定の成果があった。	満足度は高く、園内を安全で快適な場として提供し、都市公園の機能を十分に発揮していると言える。 新指定管理者に対しても、アンケートをもとに利用者からの多様なニーズを把握し利用者の増加に努めることを指導した。			
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)	
	公園利用者数	347,800	412,000	347,610	348,000	
	有料施設利用者数 (無料利用者を含む)	37,070 (51,568)	42,000	36,288 (51,963)	36,300 (52,000)	
	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
		公園のパンフレットを道の駅などに配布するなど、利用者増加に努めた。公園利用者及び有料施設利用者については、売店が指定管理者引継ぎのため休業した期間があったため、平成19年度よりも若干減少したものと考えられる。また、有料施設において、無料利用者が平成19年度よりも増加したため、無料利用者を含む有料施設利用者数は若干増加した。	公園利用者及び有料施設利用者数については計画は達成できなかったが、無料利用者数を含む有料施設利用者数が平成19年度より若干増加したことは評価できる。新管理者に対して、公園利用者の増加を図り、利用促進に努めるように指導した。			
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額－実績額)(円)	H21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	13,234,000	13,606,905	-372,905	14,200,000
		指定管理料	246,694,000	246,694,000	0	226,300,000
		その他収入	7,373,000	8,577,316	-1,204,316	0
		計	267,301,000	268,878,221	-1,577,221	240,500,000
	支出	277,317,700	266,779,745	10,537,955	240,500,000	
差し引き(収入－支出)	-10,016,700	2,098,476		0		
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
	指定管理最終年度のため、老朽化した公園施設(遊具・機械設備)・芝生の補修等を行い修繕費が増加したが、委託契約については、契約差金により執行額が減となった。燃料費・光熱水費については経費削減につとめたことにより実績額が計画額を大幅に下回った。	老朽化した公園施設などを補修し、利用者の安全環境等を整えたことは評価できる。また、経費削減につとめ支出を抑えた事は評価できる。				
施設の運営目標の達成状況		公園の利用人数については目標は達成できなかったが、昨年度とほぼ同数である。 また、有料施設利用人数についても、目標は達成できなかったが、無料利用者を含む利用者は平成19年度より若干増加した。総合的な満足度は高く、安全で快適な環境を提供しており都市公園の機能充実に努める事については目標達成できた。				
総合的な評価及び改善事項		季節ごとに開催されている各種イベントは、利用者により好評であり評価できる。 より親しみやすい都市公園となるよう、公園の特色を生かし、四季折々のイベントをアピールしたことも評価できる。 指定管理最終年度で、新管理者に引き継ぐにあたり、公園施設の修繕を実施し安全、利用者の安心等を確保したことは評価できる。 また、新管理者に対して節約に努めかつ、公園の品質を維持し管理・運営を行っていくことを指導した。				